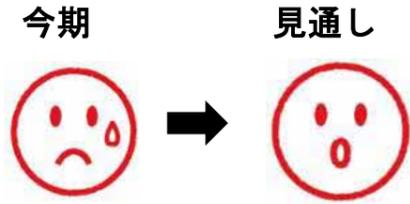


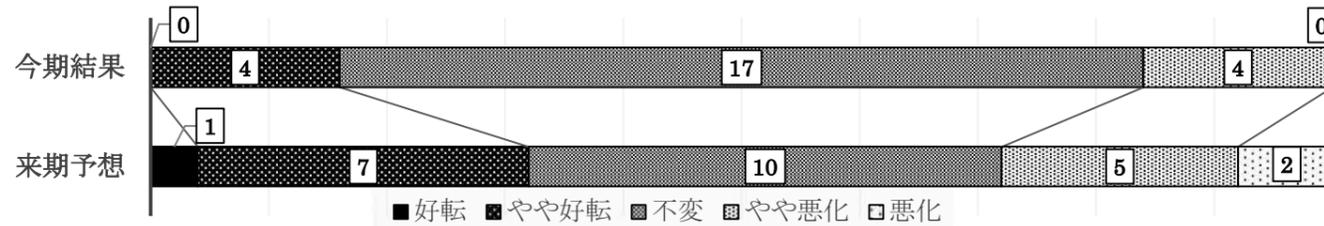
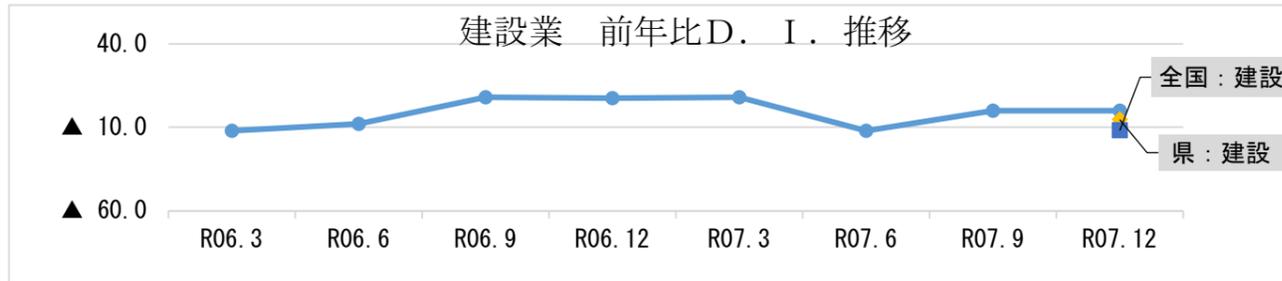
# 建設業

回答率：100% (25/25)



## ■丹波市の景況推移

公共工事減少と物価高で業況厳しく、資材高止まりや着工減の影響が続く。リフォームや市外需要、信頼経営で下支えが続く状況で、全体的に景況感は低迷傾向。今後の回復に期待したいところ。



## ■丹波市の景気動向

### 【丹波市の今期の景況】

公共工事の発注数が少ない状況が続いており、公共工事比率の高い事業所には厳しい状況が続いている。また、物価高により建設・建築関連は総じて厳しい。資材高止まり、法改正による工期長期化、着工減少が影響する一方、リフォームや造園、設備工事など一部で需要は堅調に推移している。

### 【丹波市の来期の景況予想】

資材価格や金利上昇の影響が続き、新築需要の回復は限定的とみられる。公共工事増加への期待はあるが、全体としては横ばい基調。リフォーム、造園、設備工事など地域密着型需要が下支えすると予想される。

## ■全国の景気動向

前年ベースでも全DIが低下。一部金利上昇を背景とした新築住宅の駆け込み需要等により受注が増加したとの声もあるが、資材高騰や人手不足に苦しむ事業者が多い状況である。人手不足は工期の遅延や外注費の増加に繋がり、採算の悪化を招いており、引き続き人材の確保や省力化、業務効率化の取り組みが急がれる。

## ■県下の景気動向

公共工事の減少により売上が低迷している。一方、民間工事では資材価格高騰による見積額と発注者希望価格の乖離が大きく、受注に至らないケースが増加している。公共・民間双方で収益確保が困難な状況が続いている。次期予想の業況では、業況DI・売上額DI・収益DI全てにおいて悪化する見通しである。

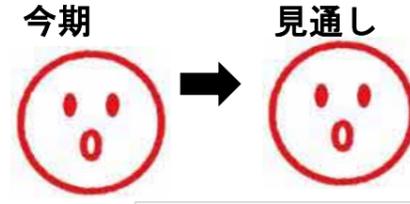
## ■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	2	0	3	0	0	6	24.0%
不変	2	6	1	1	1	2	13	52.0%
悪い (悪化+やや悪化)	0	4	0	0	2	0	6	24.0%
合計	3	12	1	4	3	2	25	100.0%

# 製造業

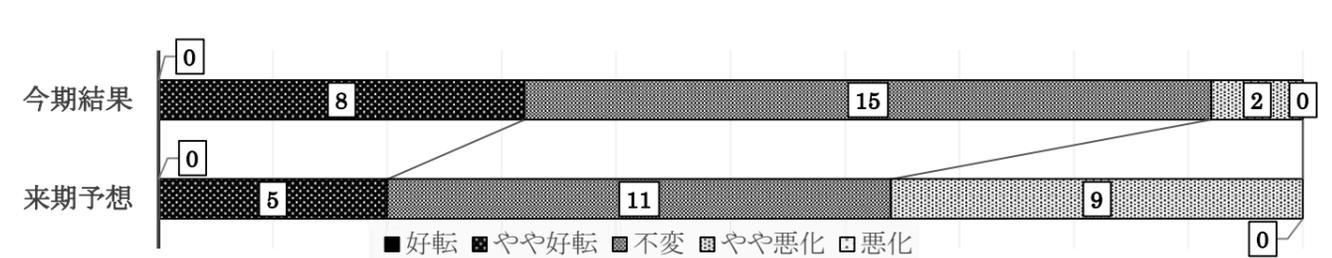
回答率：100% (25/25)

2025年10月～12月期調査



## ■丹波市の景況推移

DIは、行楽や年末需要により前期から改善した一方、原材料高や賃上げによるコスト増が収益を圧迫し、期を通じて利益確保が困難な状況が続いている。業種間で格差があり、地域全体では持ち直しの兆しもあるが、先行き不透明感から予断を許さない状況である。



## ■丹波市の景気動向

### 【丹波市の今期の景況】

食料品関連では、秋の観光シーズンから年末イベントへ続く需要に加え、特産である黒豆や小豆の販売が好調で売上が牽引した。一方、金属加工等は需要の低迷が続き、回復に遅れが見られる。全体として原材料価格の高騰や賃上げに伴うコスト増が収益を圧迫しており、業種間で明暗が分かれる結果となった。

### 【丹波市の来期の景況予想】

来期は年末需要の反動減や季節的な閑散期を迎えるため、DIは大幅に悪化すると予想される。最低賃金引上げ等のコスト増への対応や深刻な人手不足が経営の重荷となっており、先行きは依然として厳しい状況が続くと見込まれる。

## ■全国の景気動向

製造業の景況感は改善傾向にある。年末の季節需要や、半導体・AI関連の生産持ち直しが全体を押し上げた。しかし、原材料価格の高止まりや人手不足が生産活動の制約要因となっており、コスト上昇分を価格転嫁できているかどうか業況の二極化を招いている。

## ■県下の景気動向

地域の製造業は、売上・収益ともに改善が見られ、持ち直しの動きがある。しかし、仕入価格の上昇や人件費負担の増加に対する懸念は根強く、本格的な回復には至らない一進一退の状況が続いている。

## ■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	4	3	1	1	1	11	44.0%
不変	1	4	1	1	1	2	10	40.0%
悪い (悪化+やや悪化)	0	1	1	1	1	0	4	16.0%
合計	2	9	5	3	3	3	25	100.0%

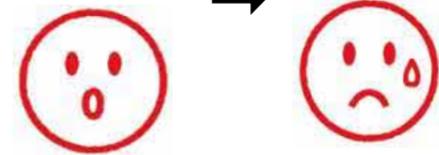
# 小売、卸売業

回答率：100% (25/25)



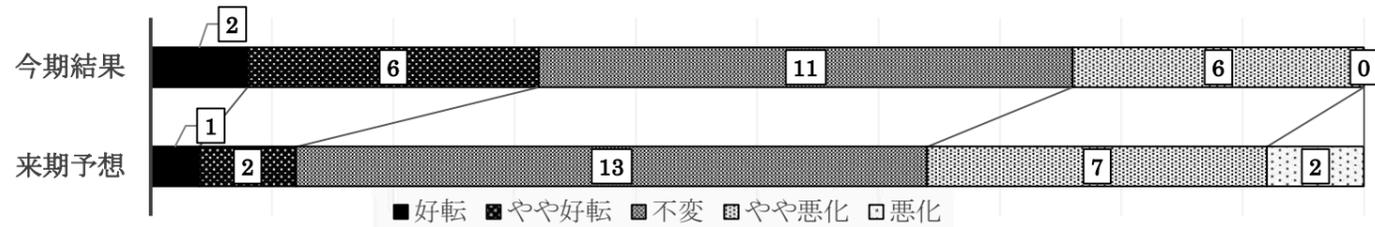
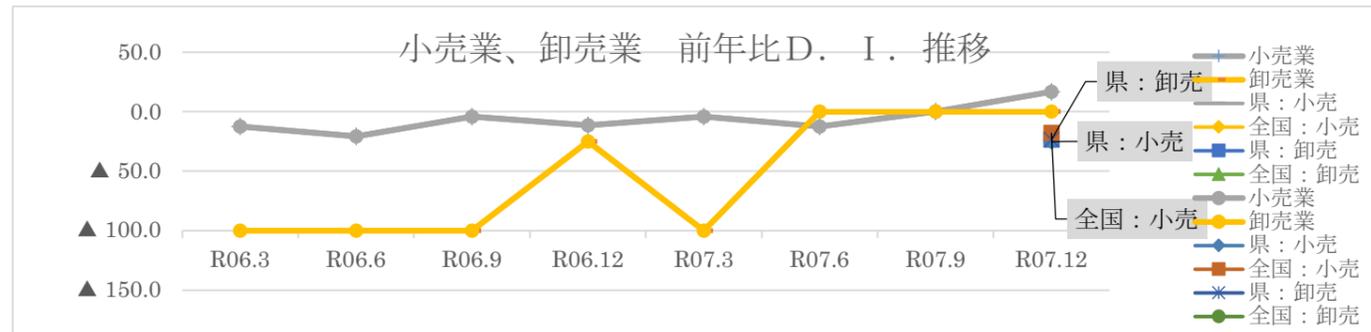
良い やや良い 普通 少し悪い やや悪い 悪い

今期 → 見通し



## ■丹波市の景況推移

第1・第2四半期は物価高や猛暑の影響で来店客数が伸び悩み、売上は全体的に低調であった。10～12月期は観光や催事需要により一部で回復の動きが見られたが、消費者の節約意識は強く、景況は概ね横ばいで推移している。



## ■丹波市の景気動向

### 【丹波市の今期の景況】

歳末需要や観光客の増加により、土産品や食品分野で売上改善が見られた。一方、仕入価格や物流費、人件費の上昇が続き、利益面では厳しさが残る。価格転嫁は進みつつあるが、購買点数の減少など消費行動の変化も見られ、慎重な経営判断を求められる状況。

### 【丹波市の来期の景況予想】

年末需要の反動により、売上は一服する見込み。生活必需品は底堅いものの、嗜好品や衣料品は動きが鈍くなると見られる。コスト高は当面続くと想定され、在庫管理や発注調整を重視する動きが強まるなど、全体としては横ばいからやや慎重な見通し。

## ■全国の景気動向

全国では、物価上昇の影響で消費者の節約志向が続いている。食料品など必需品は比較的堅調だが、衣料品や贈答品は回復が緩やか。インバウンド需要は都市部を中心に下支えとなっているものの、地方では効果が限定的で、全体としては足踏み感のある状況。

## ■県下の景気動向

県内では観光地や都市部で一定の回復が見られる一方、地域による差が大きい。物価高の影響で消費者の購買行動は慎重となり、売上確保と利益確保の両立が課題。価格改定や品揃えの工夫など、各事業者が対応を進めているが、先行きは横ばいとの見方が多い。

### ■地区ごとの回答（前年同期比）

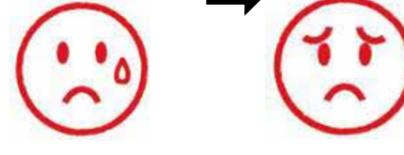
	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	5	0	2	1	1	10	40.0%
不変	3	3	0	1	1	0	8	32.0%
悪い (悪化+やや悪化)	2	1	0	2	1	1	7	28.0%
合計	6	9	0	5	3	2	25	100.0%

# 飲食・宿泊、サービス、その他業種

回答率：100% (25/25)

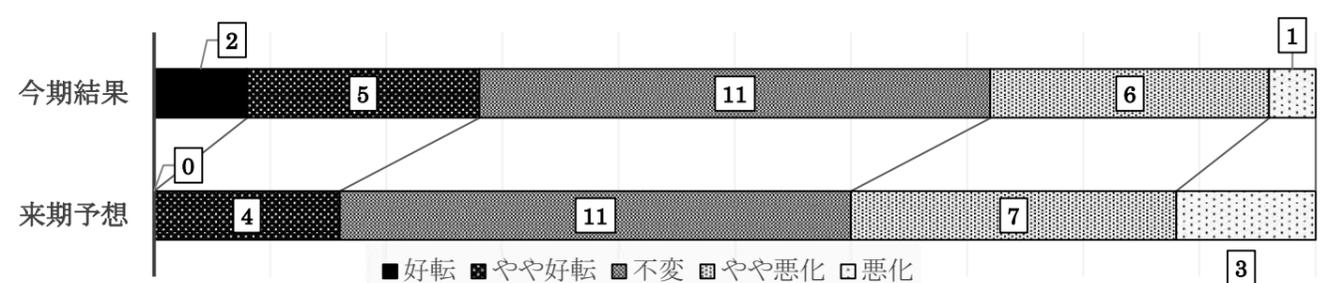
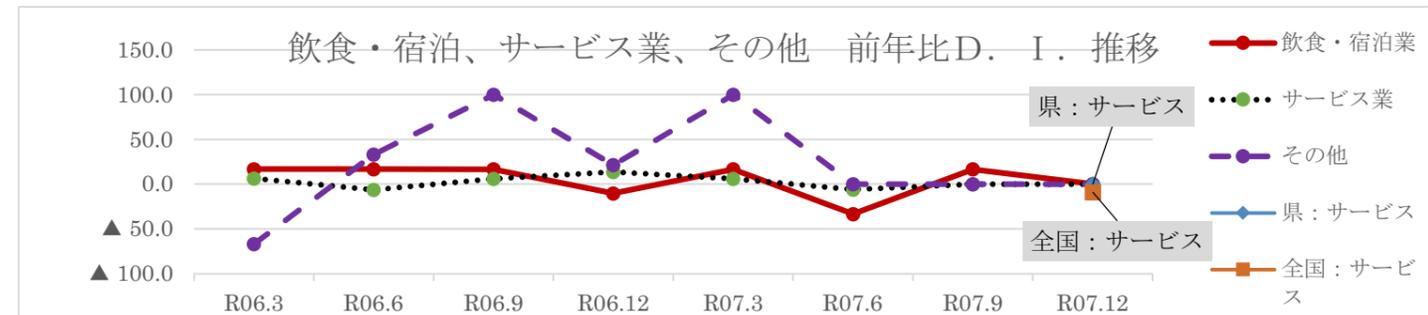
2025年10月～12月期調査

今期 → 見通し



## ■丹波市の景況推移

今期は観光・帰省やイベントで飲食宿泊が改善し客単価も上向くが、原材料高と賃上げ対応で厳しさが残る。来期は冬季と反動減で客数一服、コスト高と人手不足が続き横ばいから小幅悪化見通しが想定され、慎重姿勢の見込み。



## ■丹波市の景気動向

### 【丹波市の今期の景況】

秋の観光・帰省需要や地域イベントが集客を下支えし、飲食・宿泊の稼働は改善。客単価は価格改定やセット販売で上向いた。一方、原材料・光熱費の高止まり、最低賃金改定への対応が収益を圧迫。直前予約や繁閑差への対応が課題で、全体として「持ち直しつつも厳しさが残る」状況。

### 【丹波市の来期の景況予想】

年末需要の反動と冬季要因で客数は一服が見込まれる。インバウンドや催事連動で一定の下支えはあるものの、人手不足とコスト高は継続。価格は据置から小幅改定が中心。総じて横ばいから小幅悪化の慎重な見通し。

## ■全国の景気動向

全国では、インバウンドやイベント開催を背景に、都市部を中心に景況は持ち直しが続いている。外食では特徴のある店舗は比較的堅調だが、全体的にはコスト上昇分を価格に反映しにくい状況が続く。宿泊は稼働の改善が見られる一方、曜日による利用の偏りや人手不足が課題。物価高の影響で、消費者の行動は慎重になっている。

## ■県下の景気動向

神戸・有馬・但馬など観光地で回復の恩恵が広がるが、週末偏重と人手不足は共通課題。仕入・光熱費は高止まりし、価格改定は段階的に継続。県内回遊施策やイベントの継続開催が下支えとなっている。

### ■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	3	1	1	0	0	6	24.0%
不変	1	3	2	3	1	1	11	44.0%
悪い (悪化+やや悪化)	3	3	1	0	1	0	8	32.0%
合計	5	9	4	4	2	1	25	100.0%